

PRESS RELEASE



宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

報道機関 各位
(教育担当)

公立大学法人 宮城大学 大和キャンパス事務局
企画・入試課 広報グループ (担当: 小野寺大作)
宮城県黒川郡大和町学苑 1-1 TEL.022-377-8746

高校2年生を対象とした大学体験プログラム 「宮城大学アカデミック・インターンシップ」を開催 ～県内外 28 高等学校, 158 名が参加～

宮城大学では平成 23 年度より、高校生が大学での学びを体験するプログラムとしてアカデミック・インターンシップを実施しています。今年度も 8 月 8 日, 9 日の 2 日間のプログラムで, 学問の深さに触れ, 探究心を養ってもらう契機として開催いたします。

過去最大規模! 県内外 28 校 158 名の参加

6 月 21 日から 7 月 12 日までの募集期間の間に, 宮城県 25 校, 山形県 1 校, 岩手県 2 校から申し込みがあり, 総勢 158 名の高校生が宮城大学で学んでいきます。

大学初年次の「基盤教育」と希望する専門の「学類コース」からなるプログラム

8 月 8 日は大学 1, 2 年生向けの「基盤教育」の授業から 90 分の授業を 2 コマ, 9 日は 6 つの「学類コース」から 1 つを選択し, 1 日かけて大学での専門的な学びに触れていきます。異なる高校の参加者と机を並べ, 学問を探究する過程を通じて, 自分の進路や職業観についてじっくりと考えていきます。

●開催概要

日時: 令和元年 8 月 8 日 (木), 9 日 (金) の連続した 2 日間

場所: 8 月 8 日 (木) 宮城大学大和キャンパス (宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1)

8 月 9 日 (金) 宮城大学大和キャンパス (宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1)

宮城大学太白キャンパス (宮城県仙台市太白区旗立 2 丁目 2 番 1 号)

参加: 宮城県内高等学校 25 校, 岩手県内高等学校 2 校, 山形県内高等学校 1 校の計 28 校, 158 名の参加

内容: 1 日目は全員共通必修 (主として大学の基盤教育をアレンジ)

2 日目は 6 コースから 1 コースを選択 (主として宮城大学の専門教育をアレンジ)

※詳細は別紙リーフレットを参照

【本リリースに関するお問い合わせ先】

公立大学法人 宮城大学 高大連携推進室 事務局

担当: 岸根 TEL:022-377-8594 FAX:022-377-8282



MYU Academic Internship

2019年度宮城大学アカデミック・インターンシップ参加者募集

夏の大学体験プログラム：アカデミック・インターンシップ

高校2年生を対象に、宮城大学の“学び”を体験できるプログラムです。

大学の先生や大学生と一緒に「学問」を深く考えてみませんか？

2日間のプログラムを通して、大学生活を体験できる貴重な機会です。

自分が将来学びたいテーマを考えるきっかけに、ぜひご参加ください。

2019年8月8日(木) 9日(金)

1日目：共通必修科目

宮城大学大和キャンパス

2日目：※選択科目

看護学群 & 事業構想学群コース：宮城大学大和キャンパス

食産業学群コース：宮城大学太白キャンパス

受講の申し込みは、各高等学校で取りまとめの上、担当の先生を通じて行ってください。

[申し込み締切] 7月12日(金)までお申し込みください。詳細は右記QRコードからご確認ください。



8月8日(木)【基盤教育科目2講座：共通必修科目】

英語サクセスストーリー at Miyagi University!

【教員】 助教 マシュー ナール先生 (基盤教育群担当)

【時間】 13:00-14:30 【定員】 130名程度

【概要】 グローバル化が進み、英語力が今まで以上に重要視されています。そのため、積極的に自分の意見を発する姿勢が求められています。そこで、宮城大学の英語プログラムの魅力を紹介し、大学英語スピーキングの授業を体験してもらいます。英語サクセスストーリーの最初の一步のために、お互いに英語での即興スピーチなどを通して、自分の考えを英語で言える練習をしていきましょう！

フィールドワーク概論

ー現場に身を置き、調査するということー

【教員】 特任講師 中沢 峻先生 (基盤教育群担当)

【時間】 14:40-16:10 【定員】 130名程度

【概要】 「フィールドワーク」と聞いてあなたはどんなイメージを持ちますか？「フィールドワーク」は「野外調査」と訳され、様々な学問分野で行われる現場での調査活動を指します。ノートを携えて、現地での資料収集やインタビュー、観察、スケッチなどに取組みます。本講義では座学と演習を通じて、フィールドワークの基礎を学習します。

8月9日(金)【各学類専門科目1講座：選択科目】 ※6つのコースから1つを選択して受講します。

看護学類

看護, 在宅看護とは？

在宅看護におけるフットケア

【教員】 准教授 志田 淳子先生 (看護学類担当)

【時間】 13:00-16:00 ※他学類と開始時間が異なります

【定員】 25名程度

【概要】 看護は病院やクリニックで患者さんを助ける仕事？いえ、それだけではありません。看護とは何か、その役割を一緒に考えてみませんか。さらに、フットケアを互いに実践します。心地よいケアを体験し、健康状態とQOLを高める看護について一緒に学びましょう。*ハーフパンツを持参してください(膝下が無理なく露出できる運動着であれば何でも可)。

事業プランニング学類

『物』はどう作られるの？

企業における製品開発を考える

【教員】 教授 福永 晶彦先生 (事業プランニング学類担当)

【時間】 10:30-16:00 【定員】 25名程度

【概要】 我々は毎日様々な物を消費して暮らしています。また趣味のために買う物や乗物や建築など様々なものを毎日見えています。現代においては企業がそのような物を作っています。そして物を作ることで利益を上げ従業員に給料を払い、それで働く人々は物を買っています。ではその企業はどのように物を作っているのか具体的な例を使って考えたいと思います。

地域創生学類

地域の経済の考え方

【教員】 講師 板 明果先生 (地域創生学類担当)

【時間】 10:30-16:00 【定員】 25名程度

【概要】 「地域創生」と聞くと、ふるさと納税、B級グルメなどを活用した地域活性化イベント、観光誘致などを通じたまちおこしをイメージする方も多いのではないのでしょうか。こうした事例と、地域経済の関わり性を一緒に考えていきましょう。

価値創造デザイン学類

『価値・創造・デザイン』の

ススメ

【教員】 教授 中田 千彦先生 (価値創造デザイン学類担当)

【時間】 10:30-16:00 【定員】 25名程度

【概要】 私たちの日々の生活は「うけとること」と「おくること」を緩やかに繋げ、繰り返していると言えます。その中で「価値・創造・デザイン」という3つの言葉を連関させて考えながら、日々の生活の当事者として前向きに「うけとること」と「おくること」を遂行していくことが大切です。デザインという言葉の意味の理解をさらに深め、広げていくための大学における学びについてじっくり考えてみたいと思います。

食資源開発学類

花粉管が伸びる動きを視る

【教員】 教授 日渡 祐二先生 (食資源開発学類担当)

【時間】 10:30-16:00 【定員】 25名程度

【概要】 植物の形は、細胞の分裂パターンとともに細胞がどのように伸びるかによって決まります。例えば、被子植物の花粉が雌しべに付着すると、花粉から花粉管が伸び出し、雌しべの中で糸状の形になります。本講義では、植物細胞の成長を知るために、学内農場の作物から花粉を採集します。そして、花粉管がダイナミックに伸びる様子を顕微鏡で連続観察しながら、細胞伸長のしくみを考えます。

フードマネジメント学類

味を体験する

【教員】 助教 元木 康介先生 (フードマネジメント学類担当)

【時間】 10:30-16:00 【定員】 25名程度

【概要】 食べ物には味があります。甘い、塩っぱい、酸っぱいなど味は様々です。今回の講義では「私たちは味をどうやって認識しているのか?」、「味は何種類あるのか?」、「どうやって味を評価すればいいのか?」などを学びます。実際に味を作成し、そして味わってみて、当てられるかテストします。味とは何かを一緒に考えていきましょう。